

# 重伊勢 産直で子ども食堂

## 三JA 地場産カレー振る舞う

【三重・伊勢】JA 伊勢と伊勢市は5月下旬、産直施設「サンフームおばた」で、地域貢献を目的として、子ども食堂を開いた。地場産農畜産物でカレーライスを作って提供。施設や農畜産物のPRにつなげた。

子ども食堂は、施設の営業終了後に開いた。管内の親子20組61人が参加した。参加した親子らは、売れ残った野菜などを活用したカレーライスを食べ、農産物がもらえるミニゲームを楽しんだ。調理や配膳は、地域のボランティアらが担った。

参加した児童は「家族や友だちとカレーラ

イスを食べられて楽しかった」と話した。JAの担当者は「子ども食堂が産直施設を利用するきっかけとなればよい」と話した。

この日に提供したカレーは、鳥羽国際ホテ

ル(鳥羽市)の谷口伸一調理長にレシピの監修を依頼したもの。数種類のスパイスを使い、子どもたちが食べやすいように、野菜の甘味を生かした。参加者らの意見を取り入れ、味や材料の検討を重ねて年度内の商品化を目指す。売り上げの一部は社協に寄付する。



カレーライスを食べる親子

めには、行政などと連携した持続可能な生産体制の確立が急務だ」と話した。



摘果作業を体験する児童

## 児童が梨摘果園地で楽しく

津市立香良洲小

【みえなか】津市立香良洲小学校の3年生は5月下旬、JAみえなか香良洲梨部会が用意した農園で、梨の摘果作業を体験した。

同部会の舞野賢司部会長が「一つの果そうには、果実が七つ前後できる。傷がなく、形の良い大きな果実を残して」と説明しながら